

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
102) 吉田 謙一 小金井一隆 清水 大輔 石山 暁 三辺 大介 藤井 正一 高橋 正純 鬼頭 文彦 福島 恒男	クローン病の栄養療法施行例における血中ビタミンK値.	第14回在宅静脈栄養 (HPN) 研究会	徳島	9.4 (1999)
103) 福島 恒男 小金井一隆 杉田 昭	クローン病の外科治療：現状と未来.	第54回日本大腸肛門学会	東京	10.23-24 (1999)
104) 小金井一隆 福島 恒男	Crohn病の直腸、肛門部病変に対する fecal diversion の効果と問題点.	第54回日本大腸肛門学会	東京	10.23-24 (1999)
105) 清水 大輔 小金井一隆 福島 恒男	クローン病手術後再発に対するEDの予防効果.	第22回在宅経腸栄養研究会	福岡	11.20 (1999)
106) 武井 芳樹 澤田 俊夫 高橋 稔 古郡 大樹 茂木 健太 松浦 卓郎	特異的な臨床経過を呈した潰瘍性大腸炎の1例.	第776回外科集談会	東京	3.11 (2000)
107) 中埜 廣樹 筒井ひろ子 榎垣 伸彦 杭田 慶介 柏村信一郎 松井 聖 竹田 潔 岡村 春樹 八木田秀雄 審良 静男 中西 憲司	Fas/Fasリガンド系を介して分泌される活性化IL-18による急性肝障害 (2) in vivo編	第29回日本免疫学会総会	京都	12.1-3 (1999)
108) 筒井ひろ子 榎垣 伸彦 杭田 慶介 中埜 廣樹 二木 静央 柏村信一郎 松井 聖 岡村 春樹 八木田秀雄 中西 憲司	マクロファージからのFas/FasリガンドによるIL-18の分泌 (1) in vitro編	第29回日本免疫学会総会	京都	12.1-3 (1999)
109) 鈴木 康夫 吉村 直樹 齋藤 康	活動期潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着療法 の検討.	第19回日本アフェレシス 学会	滋賀	6.10-11 (1999)

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
110) 鈴木 康夫 吉村 直樹 齋藤 康	重症潰瘍性大腸炎に対する各種治療成績の検討と今後の治療戦略。(パネルディスカッション)	第58回日本消化器内視鏡学会総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-30 (1999)
111) 星本 相浩 鈴木 康夫	クローン病緩解導入時における中鎖脂肪酸投与の検討.	第58回日本消化器内視鏡学会総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-30 (1999)
112) 木下 貞子 鈴木 康夫	In vitroにおける短鎖脂肪酸の生理的機能に対する影響の検討.	第58回日本消化器内視鏡学会総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-30 (1999)
113) 和泉 秀彰 鈴木 康夫	潰瘍性大腸炎患者におけるNKT細胞の検討.	第58回日本消化器内視鏡学会総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-30 (1999)

研究事業報告

厚生科学研究特定疾患対策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班」
「炎症性腸疾患に対する白血球除去・
吸着療法に関する多施設共同研究」

平成11年度第1回総会プログラム

(敬称略、プロジェクト名は仮題)

平成11年11月26日(金)

開会 (9:00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方

下山 孝

II. 研究報告

1. プロジェクト研究 (9:20~9:50)

「UCとCDの病因因子としての遺伝子の検討」

責任者：田村和朗

- (1) 炎症性腸疾患の遺伝学的調査と原因遺伝子の検討
○田村和朗, 指尾宏子, 古山順一(兵庫医大遺伝)
- (2) 潰瘍性大腸炎HLA抗原領域における遺伝的多型の検討
○杉村一仁, 松澤 純, 関 鈴子, 朝倉 均(新潟大3内), 太田正穂(信州大法医), 猪子英俊(東海大遺伝情報)
- (3) 日本人クローン病におけるTNF- α 遺伝子5'領域多型
樋渡信夫, ○根来健一, 木内喜孝, 高橋成一(東北大3内)

2. プロジェクト研究 (9:50~10:50)

「UCとCDにおける免疫異常の検討」

責任者：日比紀文

- (1) クローン病におけるIL-18の意義—第二報—
○金井隆典, 中丸幸一, 岡沢 啓, 佐藤俊朗, 福井一人, 中野 雅, 井上 詠, 渡辺 守, 日比紀文(慶應大内科)
- (2) インターロイキン18の産生・分泌機構
○筒井ひろ子, 岡村春樹, 中西憲司(兵庫医大免疫医動物)
- (3) *Yersinia Enterocolitica* Hsp60単独投与によるマウス大腸炎の発症
八木田旭邦, ○助川寧, 丸山正二(近畿大腫瘍免疫等研究所)
- (4) 潰瘍性大腸炎—大腸粘膜固有層リンパ球より樹立したCTLの大腸上皮細胞HLAクラスI結合ペプチドに対する反応の検討
○砂川 隆, 金城福則, 与那嶺吉正, 齋藤 厚(琉球大1内), 渡辺 守, 日比紀文(慶應大内科)
- (5) クローン病の肉芽腫における, 抗原特異的T細胞の活性化・増殖に関する検討
松本誉之, ○神野良男, 原 順一, 中村志郎, 押谷伸英(大阪市大3内), 大谷明夫, 名倉 宏(東北大大学院医学系研究科病理), 西口幸雄, 平川弘聖(大阪市大1外)
- (6) 高分子デキストラン硫酸大腸炎モデルの病態の解析

坪内博仁, ○井戸章雄, 宮田義史, 山本章二郎, 田原良博 (宮崎医大2内)

3. プロジェクト研究 (10:50~12:20)

「潰瘍性大腸炎の診断と治療指針の検討」

責任者：棟方昭博

- (1) 潰瘍性大腸炎患者における大腸粘膜の色調・血管透見性と組織学的な大腸粘膜の血管・炎症細胞数との相関
○佐々木賀広, 三浦 心, 棟方昭博 (弘前大1内), 田中正則 (同2病理)
- (2) パルス+アンテドラッグ局所療法の結果
○茂木健太, 澤田俊夫 (群馬県立がんセンター)
- (3) 潰瘍性大腸炎に対する Rebamipide (antioxidant) の注腸療法の試み
○牧山和也, 竹島史直 (長崎大光学医療診療部)
- (4) 重症潰瘍性大腸炎に対するサイクロスポリン投与の検討
○鈴木康夫, 吉村直樹, 齋藤 康 (千葉大2内)
- (5) Hemophagocytic syndrome (HPS) を生じた重症潰瘍性大腸炎の1例
○篠崎 大, 渡辺聡明, 堀 信一, 瀬瀬真一郎, 名川弘一 (東京大腫瘍外科)
- (6) 潰瘍性大腸炎の経過中に前胸部に無菌性皮下膿瘍の形成を認めた1例
○宮里史郎, 金城福則, 久貝雪野, 齋藤 厚 (琉大1内)
- (7) 炎症性腸疾患患者の心理社会的因子の研究：潰瘍性大腸炎患者の臨床症状とストレスについて
○林田秀樹, 廣松矩子 (大腸肛門病センター高野病院健康管理センター), 小林伸行 (同心療内科), 守田則一, 野崎良一 (同消化器内科), 高野正博 (同外科)
- (8) 炎症性腸疾患に合併した静脈血栓症について
○馬場忠雄, 佐々木雅也, 辻川知之, 安藤 朗, 藤山佳秀 (滋賀医大2内), 程原佳子 (同輸血部)
- (9) Phosphatidylcholine hydroperoxide測定による潰瘍性大腸炎における脂質過酸化の検討
○増子 毅, 舟山裕士, 佐々木巖, 内藤広郎, 福島浩平, 柴田 近, 兎山 香, 高橋賢一, 小川 仁, 佐藤 俊, 上野達也, 橋本明彦, 北山 卓, 松野正紀 (東北大1外)

昼食・幹事会 (12:20~13:20)

4. プロジェクト研究 (13:20~13:50)

「クローン病の診断と治療指針の検討」

責任者：樋渡信夫

- (1) クローン病での Roxithromycin 持続投与の試み
○岡沢 啓, 一松 収, 船越信介, 高木英恵, 江崎俊彦, 長沢 誠, 岩男 泰, 渡辺 守, 日比紀文 (慶應大内科)
- (2) Crohn病患者の QOL—日本語版 IBDQ を用いた検討—
○櫻井俊弘, 平井郁仁, 菊池陽介 (福岡大筑紫病院消化器科), 岩男 泰 (慶應大内科), 橋本英樹 (帝京大2内), 福原俊一 (東京大大学院医学系研究科国際交流室)
- (3) クローン病患者を対象とした行動心理学的教育プログラム
○橋本英樹 (帝京大衛生学公衆衛生), 岩男 泰, 長沼 誠, 井上 詠 (慶應大内科), 金井隆典, 渡辺 守, 日比紀文 (慶應大内科, 慶應がんセンター)

5. プロジェクト研究 (13:50~16:30)

「白血球除去・吸着療法の有用性の検討」

特定疾患対策研究事業「炎症性腸疾患に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究」と合同

責任者：下山 孝

- (1) 潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着療法の限界と適応
 - 鈴木康夫, 吉村直樹, 斎藤 康 (千葉大2内)
- (2) 潰瘍性大腸炎に対する白血球除去—長期予後—
 - 天野國幹, 天野幹三 (広島クリニック観音)
- (3) 炎症性腸疾患に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究

下山 孝, ○澤田康史, 里見匡迪, 福田能啓 (兵庫医大4内), 朝倉 均 (新潟大3内), 飯塚文瑛 (東京女子医大消化器センター), 金城福則 (琉球大1内), 櫻井俊弘 (福岡大筑紫病院消化器), 高添正和 (社保中央総合病院内科), 戸澤辰雄 (兵庫医大中央臨床検査部), 名川弘一 (東京大腫瘍外科), 西上隆之 (兵庫医大2病理), 馬場忠雄 (滋賀医大2内), 日比紀文 (慶應大内科), 樋渡信夫 (東北大3内), 福島恒男 (横浜市立市民病院外科), 藤原研司, 太田慎一 (埼玉医大3内), 牧山和也 (長崎大光学医療診療部), 松本誉之 (大阪市大3内), 棟方昭博 (弘前大1内), 北洞哲治 (国立大蔵病院臨床研究部), 鈴木康夫 (千葉大2内), 楠神和男 (名古屋大1内), 高後 裕 (旭川医大3内)

事務局連絡 (16:30~17:00)

平成11年11月27日(土)

I. 厚生省保健医療局エイズ疾病対策課挨拶 (9:00~9:10) 金谷泰宏

II. 研究発表 (続)

6. プロジェクト研究 (9:10~9:20)

「UCとCDのデータベースを引き続き拡張・充実する」

責任者: 名川弘一

(1) IBD データベースの拡張と問題点

○名川弘一, 篠崎 大, 渡辺聡明 (東京大腫瘍外科), 武藤徹一郎 (癌研)

7. プロジェクト研究 (9:20~10:00)

「UCとCDの食事に関する検討」

責任者: 馬場忠雄

(1) 活動期クローン病に対するエレンタール®単独と脂肪製剤併用エレンタール群の比較検討

○馬場忠雄 (滋賀医大2内), 樋渡信夫 (東北大3内), 高添正和 (社保中央総合病院内科), 松本誉之 (大阪市大3内), 福田能啓 (兵庫医大4内), 櫻井俊弘 (福岡大筑紫病院消化器科)

(2) クローン病の患者対照研究 (最終報告)

○古野純典 (九州大予防医学)

(3) 炎症性腸疾患の脂溶性ビタミンに関する研究: 7日間摂取食事調査の解析

○戸田信晴, 豊田裕輝子 (大腸肛門病センター高野病院栄養科) 守田則一, 野崎良一, 滝本彰夫 (同消化器内科) 高木幸一, 高野正博 (同外科)

(4) 炎症性腸疾患における, 血清 anti-Saccharomyces Cervisiae antibody (ASCA) に関する検討—第2報—

松本誉之, ○押谷伸英, 原 順一, 中村志郎 (大阪市大3内), 羽藤文彦 (同2生理)

8. プロジェクト研究 (10:00~10:20)

「IBDの病理学的検討」

責任者: 名倉 宏

(1) 炎症性腸疾患におけるマトリックス分解酵素と組織再構築

○大谷明夫, 有廣誠二, 名倉 宏 (東北大大学院医学系研究科病理)

- (2) TNBS腸炎を用いた腸管樹状細胞の解析
棟方昭博, ○石黒 陽, 山形和史, 桜庭裕丈(弘前大1内)

休憩(10:20~10:30)

9. プロジェクト研究(10:30~12:00)

「UCとCDの手術適応と手術法の見直し」

責任者: 名川弘一

- (1) Staphylococcus aureus腸管感染を伴った潰瘍性大腸炎手術例の一例
○千葉満郎, 飯塚政弘, 渡邊純夫(秋田大1内), 福島恒男(横浜市立市民病院外科), 保科定頼, 河野 緑(慈恵医大臨床検査), 飛田正子(秋田大臨床検査)
- (2) 潰瘍性大腸炎に対するPouch手術後におけるcovering ileostomy閉鎖不能症例の検討
○吉岡和彦, 中野雅貴, 岩本慈能, 今田世紀, 吉田 良, 高田秀穂, 日置紘士郎(関西医大2外)
- (3) 潰瘍性大腸炎術後早期死亡例の検討
中野博重, ○畑 倫明, 藤井久男, 小山文一, 寺内誠司, 杉森志穂, 向川智英, 榎本泰三, 山内昌哉, 中尾 武(奈良医大1外)
- (4) 潰瘍性大腸炎術後死亡例の検討
○小金井一隆, 福島恒男(横浜市立市民病院外科)
- (5) 長期予後からみたUC術式の再検討
亀岡信悟, ○板橋道朗(東京女子医大2外), 飯塚文瑛(同消化器センター), ほか
- (6) 潰瘍性大腸炎手術例のQOL-SF36を用いた検討ー(第2報)
○杉田 昭, 嶋田 紘(横浜市大2外), 橋本英樹(帝京大公衆衛生), 岩男 泰(慶應大内科), 福原俊一(東京大大学院医学系研究科国際交流室), 福島恒男(横浜市立市民病院外科)
- (7) CD重症例に対する外科的マネジメントの検討
亀岡信悟, ○板橋道朗(東京女子医大2外), 飯塚文瑛(同消化器センター), ほか
- (8) クロウン病における器械吻合と手縫い吻合の長期予後について
○池内浩基, 楠 正人, 野田雅史, 柳 秀憲, 莊司康嗣, 山村武平(兵庫医大2外)
- (9) ラット大腸全摘後の残存小腸・大腸・腎臓における水チャンネル遺伝子発現に関する検討
○谷 達夫, 畠山 悟, 島村公年, 岡本春彦, 須田武保, 酒井靖夫, 畠山勝義(新潟大1外), 山本 格(同腎研究施設)

主任研究者挨拶(12:00)

下山 孝

厚生省特定疾患「難治性炎症性腸管障害」調査研究班

平成11年度第1回総会出席者名簿

1999年11月26日・27日

(参加139名)(敬称略)

主任研究者: 下山 孝

分担研究者: 馬場忠雄(滋賀医大2内), 日比紀文(慶應大内), 棟方昭博(弘前大1内),
樋渡信夫(東北大3内), 杉村一仁(新潟大3内), 味岡洋一(新潟大1病理),
杉田 昭(横浜市大浦舟病院2外), 畠山勝義(新潟大1外),
櫻井俊弘(福岡大筑紫病院消化器), 牧山和也(長崎大光学医療診療),

金城 福則 (琉球大1内), 松本 誉之 (大阪市大3内),
高添 正和 (社保中央総合病院内), 福田 能啓 (兵庫医科大学4内),
北洞 哲治 (国立大蔵臨床研究), 守田 則一 (大腸肛門病センター高野病院),
八木田 旭邦 (近畿大腫瘍免疫等研究所), 山村 武平 (兵庫医大2外),
佐々木 巖 (東北大1外), 吉岡 和彦 (関西医大2外), 中野 博重 (奈良医大1外),
名倉 宏 (東北大病理), 古野 純典 (九州大社会医学講座予防医学)

特別研究員: 田村 和朗 (兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍)

他班よりの研究協力者:

名川 弘一 (東京大腫瘍外)

評価委員: 柳内 登 (国立療養所晴嵐荘病院), 武藤 徹一郎 (癌研究会附病院),
粉川 皓仲 (国立京都病院)

厚生省: 金谷 泰宏

他:

後藤 啓 (札幌医大1内), 坂牧 純夫 (札幌医大4内),
蘆田 知史, 高後 裕, 藤谷 幹浩 (旭川医大3内),
石黒 陽, 桜庭 裕文, 佐々木 賀広 (弘前大1内), 千葉 満郎 (秋田大1内),
澤田 俊夫, 茂木 健太 (群馬県立がんセンター),
根来 健一, 早川 知彦 (東北大3内), 舟山 裕士, 増子 毅 (東北大1外),
有廣 誠二, 大谷 明夫 (東北大病理形態), 太田 慎一 (埼玉医大3内),
鈴木 康夫 (千葉大2内), 橋本 英樹 (帝京大公衆衛生),
篠崎 大, 石神 浩徳 (東京大腫瘍外), 千田 俊雄 (東京医科歯科大学保健衛生),
岡沢 啓, 岩男 泰, 金井 隆典 (慶應大内),
正田 良介 (国立国際医療センター),
飯塚 文瑛, 塚田 百合子 (東京女子医大消化器),
板橋 道朗, 永田 仁 (東京女子医大2外), 佐藤 公 (山梨医大1内),
谷 達夫, 須田 武保, 島村 公年 (新潟大1外),
朝倉 均, 本間 照 (新潟大3内), 向田 直史 (金沢大がん研),
馬場 正三 (浜松医大), 川上 和彦 (浜松医大2外),
楠神 和男, 西尾 雄司, 伊奈 研次 (名古屋大1内),
藤井 久男, 畑 倫明, 稲次 直樹, 向川 智英, 小山 文一 (奈良医大1外),
佐々木 雅也, 辻川 知之 (滋賀医大2内), 北野 厚生 (大阪市立住吉市民病院),
神野 良男, 押谷 伸英, 澤 禎徳 (大阪市大3内),
助川 寧 (近畿大学腫瘍免疫等研究所),
宮本 博行 (和歌山県赤十字血液センター),
水野 元夫, 岡田 裕之, 河野 博行 (岡山大1内), 天野 国幹 (広島クリニック)
井上 幹夫 (福岡大), 平井 郁仁, 宇野 博之 (福岡大筑紫病院消化器),
戸田 信晴, 林田 秀樹 (大腸肛門病センター高野病院),
弘野 修一, 山本章二郎, 宮田 義史, 田原 良博 (宮崎医大2内),
宮里 史郎, 金城 渚, 砂川 隆, 与那嶺 吉正 (琉球大1内),
国馬 誠一郎, 小瀬戸 隆, 池末 金剛 (日本抗体研究所), 永倉 直樹 (エーザイ),
藤井 克典, 西山 浩二 (日清キョーリン), 城風 淳一 (旭メディカル),
澤田 和英, 鈴木 学, 梅澤 努, 村田 正弘, 西川 正彦, 鈴木 秀樹 (味の素),
山崎 陽介, 前田 渉, 石澤 祐介 (ヘキスト・マリオン・ルセル),
戸澤 辰雄 (兵庫医大中検), 池内 浩基 (兵庫医大2外),
筒井 ひろ子 (兵庫医大免疫医動物), 阪本 尚正 (兵庫医大衛生),

指尾 宏子 (兵庫医大遺伝学), 西上 隆之 (兵庫医大2病理),
里見 匡迪, 田村 和民, 山村 誠, 澤田 康史, 福井 信, 近野 真嗣, 松村 徹也,
堀 和敏, 矢野 隆子, 横田 芳郎, 馬場 裕子, 大楠 和信 (兵庫医大4内),
事務局: 宮本 佳美, 長瀬 和子, 國井 智子

厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班」
「炎症性腸疾患に対する白血球除去・
吸着療法に関する多施設共同研究」

平成11年度第2回総会プログラム

(敬称略、プロジェクト名は仮題)

平成12年1月25日(火)

開会 (13:00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方 下山 孝

II. 研究報告

1. プロジェクト研究 (13:10～13:40)

「白血球除去・吸着療法の多施設共同研究を完遂して、新治療法として確立する」

特定疾患対策研究事業「炎症性腸疾患に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究」と合同

責任者：下山 孝

(1) 炎症性腸疾患に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究の経過報告

下山 孝、○澤田康史、里見匡迪、福田能啓(兵庫医大4内)、朝倉 均(新潟大3内)、飯塚文瑛(東京女子医大消化器内科)、金城福則(琉球大1内)、櫻井俊弘(福岡大筑紫病院消化器科)、高添正和(社保中央総合病院内科)、戸澤辰雄(兵庫医大中央臨床検査部)、名川弘一(東京大腫瘍外科)、西上隆之(兵庫医大2病理)、馬場忠雄(滋賀医大2内)、日比紀文(慶應大内科)、樋渡信夫(東北大3内)、福島恒男(横浜市民市民病院外科)、藤原研司、太田慎一(埼玉医大3内)、牧山和也(長崎大光学医療診療部)、松本 營之(大阪市大3内)、棟方昭博(弘前大1内)、北洞哲治(国立大蔵病院臨床研究部)、鈴木康夫(千葉大2内)、楠神和男(名古屋大1内)、高後 裕(旭川医大3内)

(2) 重症及び難治例(8例)に対する顆粒球吸着療法の効果

○飯塚文瑛、本間直子、山岸直子、篠崎幸子、飯村光年、塚田百合子、中村哲夫(東京女子医大消化器内科)

2. プロジェクト研究 (13:40～14:00)

「病因としての腸内細菌を、消化管に棲息する細菌相互の関連から検討する」

責任者：岡村 登

(1) 潰瘍性大腸炎患者の大腸粘膜上の細菌叢

○岡村 登、千田俊雄、小林久美子、馬場千恵美(東京医歯大・医・保健衛生)、岡村 孝(都立大塚病院外科)、松村徹也、下山 孝(兵庫医大4内)

(2) 炎症性腸疾患における *Staphylococcus aureus* の意義

○千葉満郎、飯塚政弘、渡辺純男(秋田大1内)、保科定頼、河野 緑(慈恵医大臨床検査)、福島恒男(横浜市民病院外科)、飛田正子(秋田大臨床検査)

3. プロジェクト研究 (14:00～14:10)

「CD患者の腸管内抗原を確定し、粘膜の蛋白透過性亢進を検索する」

責任者：下山 孝

- (1) クロウン病患者血清からのIgG anti-Saccharomyces cerevisiae antibody (ASCA) の分離及びビオチン化IgG ASCAによる対応抗原の検討

松本誉之, ○押谷伸英, 原 順一, 中村志郎 (大阪市大3内), 羽藤文彦 (同2生理)

4. プロジェクト研究 (14:10~14:30)

「潰瘍性大腸炎の新診断基準, 新治療指針の検討」

責任者: 棟方昭博

- (1) 潰瘍性大腸炎の診療・治療の今後の検討について
○棟方昭博 (弘前大1内)
- (2) 潰瘍性大腸炎における6-MPの緩解維持およびPSL減量効果の再検討
○長沢 誠, 佐藤俊朗, 一松 収, 船越信介, 岡沢 啓, 金井隆典, 緒方晴彦, 岩男 泰, 渡辺 守, 日比紀文 (慶應大内科)

5. プロジェクト研究 (14:30~15:00)

「クローン病の新診断基準, 新治療指針の検討」

責任者: 樋渡信夫

- (1) クローン病の活動指数, 重症度分類
○樋渡信夫 (東北大3内)
- (2) IBDの皮膚病変
牧山和也, ○磯本 一 (長崎大光学医療診療部)
- (3) Crohn病における内視鏡的拡張術の有用性
○松井敏幸, 櫻井俊弘, 八尾恒良 (福岡大筑紫病院消化器科)

6. プロジェクト研究 (15:00~15:30)

「IBD患者の食事内容の検討」

責任者: 古野純典

- (1) IBD患者の食事内容の検討
○古野純典 (九州大公衆衛生)
- (2) IBD患者の7日間食事摂取調査の実態 (第1報)
○守田則一, 野崎良一 (大腸肛門病センター高野病院消化器内科), 戸田信晴, 豊田裕輝子 (同 栄養科), 高木幸一, 高野正博 (同 外科)
- (3) 潰瘍性大腸炎の疫学的研究
○北洞哲治 (国立大蔵病院臨床研究部, 同 消化器科), 宇都宮利善, 横山巽子, 今場清子, 小野ひろみ (同臨床研究部), 林 篤, 大原 信, 田代博一 (同消化器科)

7. プロジェクト研究 (15:30~16:00)

「CDにおける食事脂肪の関与を確定する研究を完遂する」

責任者: 馬場忠雄

- (1) 腸管上皮細胞における中鎖, 長鎖脂肪酸におけるケモカイン産成制御
馬場忠雄, ○高谷宏樹, 佐々木雅也, 安藤 朗, 辻川知之, 藤山佳秀 (滋賀医大2内)
- (2) クロウン病の栄養療法におけるn-3系脂肪酸投与の意義
下山 孝, ○福田能啓, 小坂 正, 奥井雅憲, 馬場裕子, 田村和民, 里見匡迪 (兵庫医大4内)
- (3) Crohn病における栄養療法のクリニカルパスウェイ
高添正和 (社保中央総合病院内科), ○穴見美佳, 鳥居 明, 戸田剛太郎 (慈恵医大1内)

8. プロジェクト研究 (16:00~16:10)

「消化管機能改善、環境改善を食品や嗜好の偏りの面から検討する。」

責任者：下山 孝

(1) Crohn病患者の便性に対する食物繊維の効果

高添正和(社保中央総合病院内科), ○齋藤恵子(同 栄養指導室)

9. プロジェクト研究 (16:00~16:20)

「新治療法を開発する」

責任者：下山 孝

(1) HGF-ミニレビュー

坪内博仁(宮崎医大2内)

(2) 高分子デキストリン硫酸モデルの病態の解析—大腸粘膜における増殖因子の発現—

坪内博仁, ○井戸章雄, 弘野修一, 宮田義史, 山本章二郎, 田原良博士(宮崎医大2内)

10. プロジェクト研究 (16:20~16:40)

「UCとCD患者のQOLを治療法による影響も含めて検討する」

責任者：櫻井俊弘

(1) IBDQを用いたCrohn病患者QOLの検討

○櫻井俊弘, 松井敏幸, 八尾恒良(福岡大筑紫病院消化器科), 岩男 泰, (慶應大内科), 橋本英樹(帝京大2内), 福原俊一(東京大大学院医学系研究科)

(2) UCとCD患者のQOLにストーマは影響を及ぼすか?—大腸癌患者における予備的検討

○吉岡和彦, 中野雅貴, 岩本慈能, 今田世紀, 吉田良, 高田秀穂, 日置紘四郎(関西医大2外)

事務局連絡 (16:40~17:00)

懇親会 (17:00~19:00)

平成12年1月26日(水)

I. 厚生省保健医療局エイズ疾病対策課挨拶 (9:00~9:10) 金谷泰宏

II. 研究発表(続)

11. プロジェクト研究 (9:10~9:40)

「UCとCDのデータベースを拡張充実し、両疾患研究に資する態勢をつくる」

責任者：名川弘一

(1) IBD診断書の統一案

○名川弘一(東京大腫瘍外科), 里見匡迪, 下山 孝(兵庫医大4内), 棟方昭博(弘前大1内), 樋渡信夫(東北大3内)

(2) 潰瘍性大腸炎の医療給付対象者の検討

○金城福則, 久貝雪野, 諸喜田林, 外間 昭, 半仁田慎一, 又吉亮二, 内間庸文, 豊見山良作, 斎藤 厚(琉球大1内)

12. プロジェクト研究 (9:40~10:10)

「UCとCDの遺伝子異常をより広い範囲で、より多数例で検討する」

責任者：田村和朗

- (1) 炎症性腸疾患の遺伝学的調査と原因遺伝子の検討
 - 田村和朗, 指尾宏子, 古山順一 (兵庫医大遺伝)
- (2) 直接シーケンシングによる HLA-DRB タイピング—家族性を有する IBD 症例での検討—
 - 田村好弘, 渡辺智子, 福田真作, 対馬健一, 棟方昭博 (弘前大 1 内)
- (3) 腸内細菌叢通常化モデルを用いて炎症性腸疾患関連遺伝子のスクリーニング—その可能性と限界—
 - 北山 卓, 福島浩平, 内藤広郎, 舟山裕士, 柴田 近, 児山 香, 増子 毅, 高橋賢一, 小川仁, 佐藤 俊, 上野達也, 橋本明彦, 佐々木 巖, 松野正紀 (東北大 1 外)

13. プロジェクト研究 (10:10~12:20)

「UC と CD における免疫異常・サイトカインを検索し, 新治療の開発を図る」

責任者: 日比紀文

- (1) 潰瘍性大腸炎患者の大腸粘膜固有層リンパ球より樹立した CTLline における T 細胞レセプターの検討
 - 砂川 隆, 金城福則, 与那嶺吉正, 斎藤 厚 (琉球大 1 内), 渡辺 守, 日比紀文 (慶應大内科)
- (2) 潰瘍性大腸炎における大腸組織活動性と血清 PLA2-11A 濃度
 - 山口 修, 杉村一仁, 石塚基成, 鈴木恒治, 長谷川勝彦, 大塚和朗, 木間 照, 朝倉 均 (新潟大 3 内)
- (3) 潰瘍性大腸炎患者における NKTcell の検討
 - 鈴木康夫, 和泉秀彰, 斎藤康 (千葉大 2 内)
- (4) CD 腸管局所における $\gamma\delta$ T 細胞に関する検討
 - 石黒 陽, 山形和史, 桜庭裕丈, 棟方昭博 (弘前大 1 内)
- (5) IBD 患者末梢血におけるサイトカイン産生能と NKT 細胞比率の検討
 - 八木田旭邦, 丸山正二, 助川 寧 (近畿大腫瘍免疫等研究所), 高添正和 (社保中央総合病院内科), 工藤 正俊 (近畿大消化器内科), 安富正幸 (同 1 外)
- (6) IBD 病変形成におけるサイトカイン mRNA 定量の意義
 - 松本誉之, ○ 澤禎徳, 神野良男, 原順一, 中村志郎, 押谷伸英 (大阪市大 3 内), 西口幸雄, 平川弘聖 (同 1 外), 足立賢治, 北野厚生 (住吉市民病院)
- (7) 潰瘍性大腸炎モデルマウスにおける粘膜 IL-7/IL-7 レセプターシグナル異常 (T 細胞受容体 α 鎖欠損マウスを中心として)
 - 福井一人, 山崎元美, 高木英恵, 江崎俊彦, 中野 雅, 矢島知治, 井上 詠, 金井隆典, 渡辺 守, 日比紀文 (慶應大内科)
- (8) 肉芽腫好発モデルとしての IL-1ra 欠損マウスの解析
 - 向田直史 (金沢大がん研究所), 飯笹 久 (共立薬大)
- (9) 炎症性腸疾患患者における末梢血単球由来樹状細胞の検討
 - 馬場忠雄, ○ 畑 和憲, 佐々木雅也, 安藤 朗, 辻川知之, 藤山佳秀 (滋賀医大 2 内)
- (10) IBD 腸管粘膜における MAdCAM-1 の発現 (第 1 報)
 - 大谷明夫, ○ 有廣誠二, 名倉 宏 (東北大大学院医学系研究科病理)
- (11) MAdCAM-1 アンチセンスによる実験的腸炎予防効果
 - 後藤 啓, 日野田裕治, 今井浩三 (札幌医大 1 内)
- (12) 虫垂切除は潰瘍性大腸炎の発症を抑制するか—日本人における症例対照研究
 - 樋渡信夫, 須貝真生 (東北大 3 内)

幹事会・昼食 (12:10~13:10)

14. プロジェクト研究 (13:10~13:30)

「UC 患者の癌と dysplasia を基準に, 癌の surveillance を確立する」

責任者: 名倉 宏

- (1) 潰瘍性大腸炎サーベイランスにおける効率化の検討
 - 篠崎 大, 渡辺聡明, 名川弘一(東京大腫瘍外科)
- (2) 潰瘍性大腸炎の癌化とp53遺伝子異常
 - 味岡洋一, 渡辺英伸(新潟大1病理), 高久秀也(同1外)

15. プロジェクト研究(13:30~14:40)

「UC難治例の大腸切除の適応を, 新治療法を加味して新たに定める」

責任者: 名川弘一

- (1) 高齢者潰瘍性大腸炎に対する外科治療と手術術式の選択
 - 舟山裕士, 内藤広郎, 福島浩平, 柴田 近, 兎山 香, 増子 毅, 高橋賢一, 小川 仁, 佐藤 俊, 上野達也, 橋本明彦, 北山 卓, 佐々木巖, 松野正紀(東北大1外)
- (2) IAA術後回腸囊内の内視鏡像の検討
 - 須田武保, 下山雅朗, 飯合恒夫, 島村公年, 岡本春彦, 酒井靖夫, 畠山勝義(新潟大1外)
- (3) 潰瘍性大腸炎の経過中, 骨盤腔・臀部膿瘍を併発した1例
 - 中野博重, ○藤井久男, 畑 倫明, 小山文一, 向川智英, 中尾 武(奈良医大1外), 佐藤麗子, 増谷喬之(同 中央臨床検査)
- (4) Crohn病に合併した肛門病変の外科治療
 - 杉田 昭(横浜市大市民総合医療センター, 難病医療センター), 小金井一隆, 福島恒男(横浜市立市民病院外科), 山崎安信(横浜市大外科)
- (5) 永久人工肛門となったクローン病症例の検討
 - 池内浩基, 楠正人, 野田雅史, 柳秀憲, 荘司康嗣, 山村武平(兵庫医大2外)
- (6) 痔瘻を伴うクローン病に合併した肛門管癌の1例
 - 中野博重, ○山内昌哉, 藤井久男, 畑倫明, 小山文一, 寺内誠司, 杉森志穂, 榎本泰三(奈良医大1外)
- (7) CD膿瘍合併例の検討
 - 亀岡信悟, 板橋道朗(東京女子医大2外), 飯塚文瑛(同消化器内科)

主任研究挨拶(14:40~15:00)

評価小委員会(15:00~16:00)

厚生省特定疾患「難治性炎症性腸管障害」調査研究班

平成11年度第2回総会出席者名簿

2000年1月25日・26日

(参加154名)(敬称略)

主任研究者: 下山 孝

分担研究者: 馬場 忠雄(滋賀医大2内), 日比 紀文(慶應大内), 棟方 昭博(弘前大1内), 樋渡 信夫(東北大3内), 杉村 一仁(新潟大3内), 味岡 洋一(新潟大1病理), 杉田 昭(横浜市大市民医療センター), 畠山 勝義(新潟大1外), 櫻井 俊弘(福岡大筑紫病院消化器), 牧山 和也(長崎大光学医療診療), 金城 福則(琉球大1内), 松本 誉之(大阪市大3内), 高添 正和(社保中央総合病院内), 福田 能啓(兵庫医大4内), 北洞 哲治(国立大蔵臨床研究), 守田 則一(大腸肛門病センター高野病院),

今井浩三(札幌医大1内), 坪内博仁(宮崎医大2内),
八木田旭邦(近畿大腫瘍免疫等研究所), 佐々木 巖(東北大1外),
吉岡和彦(関西医大2外), 中野博重(奈良医大1外),
亀岡信悟(東京女子医大2外), 名倉 宏(東北大病理),
古野純典(九州大社会医学講座予防医学)

特別研究員: 田村和朗(兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍)

他班よりの研究協力者:

名川弘一(東京大腫瘍外)

評価委員: 柳内 登(国立療養所晴嵐荘病院), 武藤徹一郎(癌研究会附病院),
粉川皓伸(国立京都病院), 渡邊英伸(新潟大1病理)

厚生省: 金谷泰宏

他:

後藤 啓(札幌医大1内), 坂牧純夫(札幌医大4内),
蘆田知史(旭川医大3内),
石黒 陽, 桜庭裕文, 阪本十一, 田村好弘, 山形和史(弘前大1内),
千葉満郎(秋田大1内),
澤田俊夫, 茂木健太, 武井芳樹(群馬県立がんセンター),
舟山裕士, 北山 卓, 福島浩平(東北大1外),
有廣誠二(東北大病理形態), 太田慎一, 藤盛健二(埼玉医大3内),
鈴木康夫(千葉大2内), 篠崎 大, 石神浩徳, 渡辺聡明(東京大腫瘍外),
千田利雄, 小林久美子(東京医科歯科大学保健衛生),
岩男 泰, 高石官均, 福井一人, 長沼 誠, 渡辺 守(慶應大内),
正田良介(国立国際医療センター), 林 篤(国立大蔵病院),
飯塚文瑛(東京女子医大消化器), 斉藤恵子(社保中央総合病院栄養),
板橋道朗, 大地哲也(東京女子医大2外), 岡村 孝(都立大塚病院),
須藤 訓, 猿田雅之, 穴見美佳, 長又博之, 鳥居 明(慈恵医大1内),
帯刀 誠(国立小児病院研究センター), 福島恒男(横浜市民病院),
須田武保, 酒井靖夫, 飯合恒夫(新潟大1外),
朝倉 均(新潟大3内), 向田直史, 北村和哉(金沢大がん研),
馬場正三, 川上和彦(浜松医大), 楠神和男(名古屋大1内),
畑 倫明, 小山文一, 山内昌哉(奈良医大1外),
佐々木雅也, 辻川知之, 高谷宏樹, 畑 和憲(滋賀医大2内),
北野厚生(大阪市立住吉市民病院),
押谷伸英, 澤 禎徳, 中村志郎, 原 順一(大阪市大3内),
助川 寧(近畿大学腫瘍免疫等研究所),
宮本博行(和歌山県赤十字血液センター), 宮本和明(和歌山医大微生物),
岡田裕之(岡山大1内), 天野国幹(広島クリニック), 池田宣央(愛媛大3内),
西村 拓, 菊池陽介, 松井敏幸(福岡大筑紫病院消化器),
山本章二郎, 宮田義史, 田原良博, 井戸章雄(宮崎医大2内),
磯本 一(長崎大光学医療診療部), 砂川 隆(琉球大1内),
国馬誠一郎, 小瀬戸 隆, 池末金剛, 浦野啓治(日本抗体研究所),
平井 亨(呉羽化学), 福井正憲(協和発酵), 鈴木誠二(テルモ)
滝澤 渉(エースバイオプロダクト), 高橋良樹(わかもと)
藤井克典, 稲場昭喜(日清キョーリン), 城風淳一, 吉田 一(旭メディカル),
村田正弘, 鈴木秀樹, 銭学 信(味の素),

前田 涉, 三浦彰三, 澤田和英, 梅澤 努, 石澤祐介, 後藤英之, 袴田年宏,
菅野美幸(味の素ファルマ),
藤之治朗(兵庫医大1外), 池内浩基(兵庫医大2外),
阪本尚正(兵庫医大衛生),
指尾宏子(兵庫医大遺伝学), 西上隆之(兵庫医大2病理),
里見匡迪, 田村和民, 山村 誠, 澤田康史, 近野真嗣, 小坂 正, 金田真弥
堀 和敏, 馬場裕子(兵庫医大4内),

事務局:宮本佳美, 長瀬和子, 國井智子, 田村裕子

社 会 活 動

氏名 (所属)	会の名称および講演演題	年・月・日	場所
1. 下山 孝 (兵庫医大4内)	「難病患者ホームヘルパー養成研修」 難病に関する基礎知識3. ～消化器系難病の理解と治療 (クローン、病潰瘍性大腸炎)～	平成12年 2月9日	神戸
2. 山村 誠 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎の最新治療法と療養上の注意点について」	平成11年 5月21日	豊岡
3. 福田 能啓 山村 誠 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病について」	平成11年 8月6日	山崎
4. 福井 信 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎患者・家族への医療相談会」	平成11年 7月4日	津名
5. 里見 匡迪 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎とクローン病患者・ 家族に対する医療相談と講演」	平成11年 8月24日	川西
6. 福田 能啓 (兵庫医大4内)	「クローン病の基礎知識と最新医療について」	平成11年 9月12日	吹田
7. 福田 能啓 山村 誠 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病について」	平成11年 9月19日	但馬
8. 山村 誠 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎患者・家族への 専門医による講義と医療相談」	平成11年 10月1日	福崎
9. 福田 能啓 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病の最近の治療について」	平成11年 10月10日	出雲
10. 里見 匡迪 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎と上手につきあうために」	平成11年 10月19日	伊丹
11. 福田 能啓 (兵庫医大4内)	「クローン病について」	平成11年 10月25日	尼崎
12. 山村 誠 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎患者の医療と生活について」	平成11年 10月29日	宝塚
13. 福田 能啓 (兵庫医大4内)	「クローン病の栄養療法について」	平成11年 11月13日	熊本

14.	山 村 誠 奥 井 雅 憲 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病について」	平成11年 12月6日	芦屋
15.	福 田 能 啓 (兵庫医大4内)	「難病患者ホームヘルパー養成研修」 難病に関する基礎知識2. ～消化器系難病の理解と治療 (クローン、病潰瘍性大腸炎)～	平成12年 2月1日	神戸
16.	里 見 匡 迪 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎の理解と最近の治療について」	平成12年 2月6日	吹田
17.	山 村 誠 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎及びクローン病の病態、 治療及び日常生活について」	平成12年 2月25日	西宮
18.	山 村 誠 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎及びクローン病の治療と療養生活について」	平成12年 3月17日	三木
19.	馬 場 忠 雄 (滋賀医大2内)	「クローン病・潰瘍性大腸炎シンポジウム ～本当にたずねたいことが今、あきらかに」	平成11年 10月17日	大阪
20.	馬 場 忠 雄 (滋賀医大2内)	「医療相談消化器系疾患、平成11年度難病総合相談会」	平成11年 10月17日	八日市
21.	樋 渡 信 夫 (東北大3内)	「炎症性腸疾患と栄養」	平成11年 7月25日	宮城
22.	樋 渡 信 夫 (東北大3内)	「重症・難治性潰瘍性大腸炎の内科的治療」	平成12年 1月27日	仙台
23.	金 城 福 則 (琉球大1内)	「潰瘍性大腸炎講演及び相談会」	平成11年 9月27日	沖縄
24.	松 本 譽 之 (大阪市大3内)	「保健所合同栄養士研修会」	平成11年 4月29日	松原
25.	松 本 譽 之 十 河 光 栄 (大阪市大3内)	「難病患者相談会」	平成11年 8月23日	東住吉
26.	松 本 譽 之 (大阪市大3内)	「クローン病の医学的知識を学ぶ」	平成11年 9月27日	東淀川
27.	松 本 譽 之 (大阪市大3内)	「クローン病の病態及び治療について」	平成11年 9月29日	河内長野

28.	松本 譽之 (大阪市大3内)	「潰瘍性大腸炎の最近の医療について」	平成11年 10月8日	守口
29.	松本 譽之 (大阪市大3内)	「クローン病について」	平成11年 10月24日	寝屋川
30.	松本 譽之 中村 志郎 澤 禎徳 (大阪市大3内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病講演会・相談会」	平成11年 11月4日	東大阪
31.	松本 譽之 (大阪市大3内)	「難病患者療養相談会」	平成11年 11月5日	東成
32.	松本 譽之 (大阪市大3内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病講演会・相談会」	平成11年 11月12日	狭山
33.	松本 譽之 押谷 伸英 中村 志郎 北野 厚生 (大阪市大3内)	「クローン病教室」	平成11年 11月16日	大阪
34.	松本 譽之 (大阪市大3内)	「難病患者療養相談会」	平成12年 2月17日	富田林
35.	松本 譽之 (大阪市大3内)	「クローン病相談会」	平成12年 2月22日	狭山
36.	松本 譽之 澤 禎徳 (大阪市大3内)	「難病患者療養相談会」	平成12年 3月2日	港
37.	田村 和朗 (兵庫医大先端研)	「遺伝学・家系図の書き方」	平成11年 11月5日	兵庫
38.	藤井 久男 (奈良医大1外)	「クローン病について」	平成11年 8月10日	奈良
39.	藤井 久男 (奈良医大1外)	「潰瘍性大腸炎とクローン病について」	平成11年 9月4日	大和郡山
40.	高添 正和 (社保中央病院内)	「クローン病講演会」	平成11年 4月17日	神戸